

道徳性の育成

—道徳教育全体の要として効果的に機能する道徳の時間をめざして—

I 研究の内容

1 研究目標

一人一人の教師の授業改善に基づく道徳性の育成

2 研究の内容

(1) 実践的な研究

ア 昨年度までの研究成果（指導法の工夫や改善）を基にした授業実践の積み重ねによる授業改善。

イ 教師同士が専門家として育ち合う研究協議の構築。（授業リフレクション）

(2) 特別活動等と関連を密にした計画的な道徳の授業実践

ア 道徳の時間と学校教育活動（特に重要な役割を期待されている特別活動 ※学級力向上プロジェクトを含む）との関連を図った授業実践。

(3) 授業の成果の把握と実践カリキュラムの作成

ア ワークシート分析，学習感想，教師の見取り等による授業の振り返り。

(4) 地域に根ざした道徳的实践活動

ア 道徳的实践活動（ごみゼロ運動・有価物回収・花いっぱい運動・あいさつ運動・福祉講話・生命に関する学習会・幼保小の交流・地域高齢者との交流など）

イ 保護者地域への道徳授業公開。（授業参観などで）

II 成果と課題

1 実践的な研究

- ・ブロック（低・中・高）に分かれて、発達の段階に合わせた授業改善を進めることができた。10月の道徳の授業公開では、2，4，6学年の授業を提案し、参観者から広く意見をいただき、研究の成果と課題を確認することができた。
- ・表現活動の工夫（役割演技やペープサート，動作化）は、児童の思いを引き出すことや今後の実践につなげるための手立てとして有効であった。
- ・板書を生かす工夫では、違いや多様さを対比的に示したり、構造的な板書をしたりにすることによって、子どもが自分の考えを整理し深めることができた。
- ・発問の工夫（テーマ発問，発達の段階や題材に応じた発問，事前アンケートの活用など）により、児童が自分とのかかわりで問題意識をもち、多様な考えが生まれ、積極的に道徳的価値について考えることができた。
- ・話合いの工夫（ペアや小人数，全体など，様々な形態での話合い）により，他者理解や，多様な意見の交流と自分の考えを深める機会となった。

2 特別活動等と関連を密にした計画的な道徳の授業実践

- ・特別活動および総合的な学習の時間、各教科などとの関連を重視し、意図的計画的に道徳の授業を行うことにより、児童の主体的な道徳実践へとつなげることができた。また、子どもたちが自分の課題として意識して考える姿、道徳的価値をより自分のこととして捉える姿が多くみられた。
 - ・特別活動などに関連させることにより、子どもたちの共通体験を道徳の時間で生かしたり、道徳の時間に自分とのかかわりでとらえた道徳的価値の自覚を特別活動などで深めたりすることができた。
 - ・今年度も、12月に道徳の意識調査を実施し、昨年度末と比較、検証を行った。結果は、肯定的な回答が多く、ほとんどの内容項目で9割以上、数値が低い項目でも8割以上の児童が肯定的な回答をしおり、学校全体として、意識の高まりが見られた。また、今年度、重点内容項目とした2-(3)「友情・信頼・助け合い」は、すべてのクラスで9割以上の児童が肯定的な回答をしている。重点項目の一つとして、研究を進め、学級活動など関係付けて、意図的に授業を行った成果が、児童の意識の高まりとなって現れていると考えられる。また、実際の児童の姿を見ても、友達の気持ちを考えて行動したり、助け合ったりする場面が多く見られている。意識の高まりが児童の行動となって現れている。今後も、実生活と結びつけながら、意識化させることが大切であると感じる。
- 3 授業の成果の把握と実践カリキュラムの作成
- ・全学年で、道徳、学級力向上プロジェクト、算数活用学習の実践を行い、授業中の児童の実際の姿やワークシートなどの分析を通し、振り返りを行った。授業リフレクション、自己リフレクションなどを通して、授業改善を図ることができた。
- 4 地域に根ざした道徳的実践活動の推進
- ・ごみゼロ運動、愛校作業、有価物回収、あいさつ運動、縦割り交流活動、福祉講話、生命に関する学習会、幼保小・高齢者交流など、道徳的実践活動を積み重ねた。また、道徳の時間との関連も図りながら、教育活動全体を通して道徳性の育成に努めることができた。
 - ・全学級で授業参観の折に道徳の授業を公開した。道徳の時間の意義や児童の様子を保護者に伝えることができた。家庭が児童の道徳性の育成にかかわっていくことのできる点で重要な取り組みである。

III 成果物

- 1 道徳の指導案・ワークシート・実践記録・授業改善案など（全学年）
- 2 学級力向上プロジェクトの実践記録など（全学年）
- 3 算数の活用学習の指導案・ワークシート・実践記録・授業改善案など（全学年）
- 4 道徳意識調査（1～6学年）

（研究主任 竹川 俊之）